

ホスピタリスト直伝！ 入院診療 虎の巻

“いつ” “何をすべきか” がわかり、内科急性期に強くなる！

序	平岡栄治	3 (1329)
Color Atlas		10 (1336)
執筆者一覧		12 (1338)

第1章 総論：「ホスピタリスト」とは

1. 日本版ホスピタリストに必要な能力.....平岡栄治 14 (1340)
 1. ホスピタリストに必要な能力：臨床力
 2. ホスピタリストに必要な能力：手技力
 3. ホスピタリストに必要な能力：システムを生かす力
 4. ホスピタリストに必要な能力：病院外来診療力
2. ホスピタリストのための入院診療総論江原 淳 22 (1348)
 1. 入院診療総論
 2. 新入院患者があたったら
 3. 担当患者さんのフォローアップ
 4. 他職種との付き合い方
 5. コンサルタントとの付き合い方

第2章 ホスピタリストのための主要疾患マネジメント

1. 急性心不全小島俊輔 31 (1357)
 1. 心不全の3つの軸
 2. 心電図，心エコーで特に注意するポイントは？
 3. 初期治療
 4. 退院までにすべきこと

2. 心房細動

総合内科医も頻りに遭遇する不整脈 ……………新井順也, 平岡栄治 39 (1365)

1. 心房細動はなぜ起こる? 2. 心房細動のマネジメント ● Advanced Lecture: 頻脈誘発性心筋症

3. 敗血症……………森川大樹 49 (1375)

1. 敗血症とは? 2. マネジメントの要点 3. 入院から退院までにいつ・何をすべきか

4. 市中肺炎 ……………堀内正夫 64 (1390)

1. 市中肺炎 (IDSA/ATS ガイドライン) 2. CAPの原因菌 3. CAPミックスの鑑別 4. 重症度判定とdisposition (入院先) 5. 画像検査 6. 原因菌の推定と治療 7. 抗生物質の選択と適切な経過観察 8. 治療抵抗性肺炎へのアプローチ 9. 退院までにすべきこと 10. 入院から退院までにいつ・何をすべきか ● Advanced Lecture: 耐性菌リスクの推定とHCAPの概念の今後

5. 蜂窩織炎・軟部組織感染症 ……………北菌英隆 77 (1403)

1. 初期スクリーニング 2. 病歴聴取のポイント 3. 診察のポイント 4. マネジメント・治療 ● Advanced Lecture: 化膿性が非化膿性かの判断に迷う場合

6. COPD増悪 ……………磯本晃佑 88 (1414)

1. COPD増悪の診断 2. 初期対応 3. 補助換気療法の適応について 4. 安定後のマネジメント

7. 上部消化管出血 ……………宮崎岳大 99 (1425)

1. バイタルサインの安定化 2. 輸血を含めた緊急内視鏡を行うための準備 3. 内視鏡治療後のマネジメント 4. 入院から退院までにいつ・何をすべきか ● Advanced Lecture

8. 急性膵炎 ……………佐々木昭典 110 (1436)

1. 膵炎の診断基準: 軽症~重症で大きく異なる 2. 初期治療: 大量補液, 鎮痛 など 3. 最初に遭遇する合併症: ARDS, 腹部コンパートメント症候群, AKI

9. 急性腎障害 ……………宮内隆政 120 (1446)

1. AKIの定義 ● Advanced Lecture: 腎機能評価について 2. AKIのときに行うこと (鑑別・原因検索) 3. 入院から退院までにいつ・何をすべきか? ● Advanced Lecture: 緊急透析 4. AKIの予後

- 10. 透析患者**益子茂人 129 (1455)
1. 透析の役割 2. 入院時の連絡 3. 透析条件・透析経過 4. シヤント肢のケア 5. 透析患者の出血 6. 透析患者への輸血 7. 透析患者への投薬 ● Advanced Lecture：降圧薬の透析性 8. 透析中の血行動態 ● Advanced Lecture：1. メンケベルグ型中膜石灰化 2. 心機能低下 3. 除脂肪体重 (lean body mass) の変化 9. 退院調整
- 11. 急性期の血糖管理**家 研也 138 (1464)
1. 入院中の血糖管理, 何のために行うのか? 2. 病態ごとの血糖コントロール目標値は? 3. 入院患者で経口血糖降下薬を使う際の注意点は? 4. 急性期におけるインスリン使用の注意点 5. 入院から退院までにいつ・何をすべきか
- 12. 脳梗塞**.....藤井修一 145 (1471)
1. 脳梗塞の初期対応 2. 脳梗塞の急性期治療 3. 脳梗塞の病型診断 4. 入院中に必要な検査 5. 入院中の内科管理 6. 入院から退院までにいつ・何をすべきか ● Advanced Lecture：脳梗塞急性期の血管内治療について
- 13. けいれん**杉田陽一郎, 服部高明 155 (1481)
1. 用語の確認：病態・症候・疾患の対応関係 2. けいれんを呈する病態 3. けいれんでの診療の流れ ● Advanced Lecture：自己免疫性脳炎に関して
- 14. がんの可能性のある患者**原谷浩司 166 (1492)
1. がんの診断の際に知っておくべきこと 2. がんを疑ったら, まずやるべきこと 3. 入院から退院までにいつ・何をすべきか
- 15. 周術期マネジメント**.....遠藤慶太, 平岡栄治 177 (1503)
1. 周術期管理の総論 2. 周術期管理の名論 3. 入院から退院までにいつ・何をすべきか

第3章 ホスピタリストのための必須 Skills

- 1. 困難な意思決定, アドバンス・ケア・プランニング**吉野かえで 186 (1512)
- 困難な意思決定：1. Jonsenの臨床倫理4分割表 2. 4分割表を用いた症例検討 3. 多職種カンファランスの勤め アドバンス・ケア・プランニング：1. ACPとは 2. ACPの手順 3. 実臨床でのACPの始め方 4. ACPの効用

2. 病院で暴言、暴力、クレームに出会ったら ……早川 学, 平岡栄治 197 (1523)

1. クレームとは?～「claim」≠「苦情」
2. 暴言・暴力の原因は病気なのか? キャラクターなのか?
3. まっとうな人をクレーマーにしないために

3. よくない事象が起きたら

～M & Mカンファレンス ……安田圭吾, 平岡栄治 206 (1532)

1. M & Mカンファレンスとは?
2. エラーにはどのようなものがあるのか?
3. エラーをどのように分析するか: 根本原因分析
4. 症例をもとに, カンファレンスの進め方をイメージしよう

第4章 ホスピタリストのための退院マネジメント

1. 申し送り・退院マネジメント～隠れたリスクに気配りを …長野広之 213 (1539)

1. 申し送りにはリスクが伴うか?
2. 申し送りの質を上げるには
3. 退院後のケアへの移行について
4. 退院後にケアの移行をスムーズに行うには?

2. ホスピタリストが知っておくべき社会制度 ……次橋幸男 219 (1545)

1. 生活を支える自助, 互助, 共助, 公助
 2. 介護保険制度の特徴
 3. 社会制度にかかわる専門職との連携
- Advanced Lecture

● **索引** …… 226 (1552)